わがまち熊谷のできごと

※記念撮影時には、マスクを外しました。



長年の交通事故防止活動に感謝

8月12日、市長室にて「熊谷市交通指導員感謝状贈呈式」が行われました。児玉（こだま）厚（あつし）さんは、熊谷市交通指導員として、熊谷の交通安全に貢献されました。長年のご尽力ありがとうございました。



日本初の女子プロサッカーリーグ、9月12日開幕！

8月27日、熊谷スポーツ文化公園をホームスタジアムとして活動している「ちふれASエルフェン埼玉」が市長を訪問しました。9月12日に開幕の「WEリーグ」への意気込みを語っていただきました。市民の皆さんも応援をお願いします。



東京2020パラリンピック聖火ビジットが実施されました！

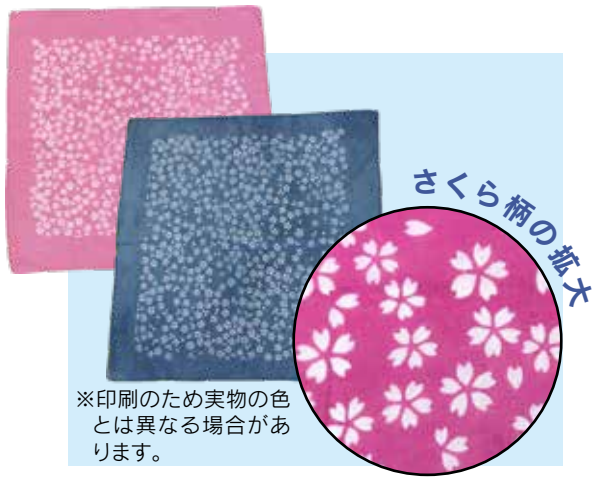
8月19日、市役所本庁舎1階にてランタンに灯されたパラリンピック聖火の炎の展示が行われました。埼玉県内各地で行われた、「埼玉のパラリンピック聖火」の元となる火をおこす採火式と各地でおこした火を集める「集火式」を経て、熊谷に聖火の炎が到着しました。



“もしも”に対応するため、動画をご活用ください！

8月28日、くまぴあにて総合防災訓練として、避難所での対応や資機材の使用方法などについて動画の収録を行いました。この動画はいつでもどこでも誰でもすぐに確認できるよう、市ホームページに公開していく予定です。上記コードからご覧ください。

さくら柄とうちわ柄の「熊谷染ハンカチ」ができました！



※印刷のため実物の色とは異なる場合があります。

埼玉県伝統的手工芸品にも指定されている「熊谷染」。その熊谷染の手法を取り入れたハンカチの新商品が完成しました。さくら柄は上品なピンク色と深い藍色の2色があり、このほかに、うちわ柄も作製しました。

価格　1枚1,000円（税込み）

◆（一社）熊谷市観光協会　TEL 048-594-6677

Instagram



熊谷スポーツ文化公園連絡橋

@dinglefairy919120

「夕陽がキレイだよ」と次男が写真を送ってきてくれました。

熊谷の魅力 再発見

#kumacitygram

熊谷市国民健康保険にご加入の方へお知らせ
大切なあなたを守る特定健診！

10月は特定健診強化月間です。年に一度は必ず受診しましょう。

特定健診は、40歳～74歳の方を対象にした健康診断の制度で、生活習慣病の予防を目的とし、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診です。

熊谷市国民健康保険では、熊谷市医師会に委託し、市内の74医療機関で特定健診を無料で受診することができます。（詳しくは24ページをご覧ください）生活習慣病予防のための特定健診・特定保健指導を積極的に利用し、バランスの取れた食生活、適度な運動習慣を身に付けましょう。

◆保険年金課　TEL 内線 360

特定健診受診者に抽選でプレゼント！

対象　令和3年度に特定健診を受診した方（熊谷市国保の助成を受け人間ドックを受検した方を除く）

抽選　令和4年1月末までに受診した方の中から、次のグループ別に抽選を行います。

①今年度、特定健診を初めて受診した方

②今年度を含めて、特定健診を3年連続受診している方

当選発表　抽選は令和4年3月に行い、当選者に賞品を発送します。抽選を行った旨を市ホームページに掲載します。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

抽選で当たる賞品（各グループ）

1等	商品券※2万円	2人
2等	ネックマッサージャー	4人
3等	体組成計	5人
4等	電子塩分計	6人
5等	低周波治療器	8人

※「まち元気」熊谷市商品券

特定保健指導とは？

特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高い方には、保健師が生活習慣を見直すサポートを行います。対象の方には熊谷保健センターからご案内します。ぜひご参加ください。

受けられる健診等

人間ドック検査料の助成を受ける場合

年齢	特定健診	長寿健診	脳ドック
30歳～39歳	-	-	×
40歳～74歳	×	-	×
75歳～	-	×	×

脳ドックの検査料の助成を受ける場合

年齢	特定健診	長寿健診	人間ドック
30歳～39歳	-	-	×
40歳～74歳	○	-	×
75歳～	-	○	×

※ドックの検査料助成は人間ドック・脳ドックのどちらか1年度に1回1人3万円（3万円に満たないときはその額まで）の助成となります。

【お詫びと訂正】　市報9月号に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

13ページの「初回献血！お友達＆ご家族紹介キャンペーン」は、「初回献血＋ラブラッド登録キャンペーン」でした。

31ページの市報クイズ【店舗情報】の住所は、正しくは「熊谷市小曽根37」でした。



読んで当てよう！市報クイズ

今月の問題

次の○○に当てはまる言葉をお書きください。

選挙の投票日当日に、仕事等で投票所に行けないときは、○○○○○制度を利用しましょう。

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。

Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法　ハガキまたは応募フォームに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題とアンケートの回答を必ず明記し、10月29日(金)までにご応募ください。(1人につき1通)

※回答がないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601 宮町2-47-1
熊谷市広報広聴課
✉:kohokocho〔アットマーク〕city.kumagaya.lg.jp

※当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

今月のプレゼント

たたみぱわーずの「『スクマム縁(ベリ)』使用トートバッグ」を8人にご提供します！



※ぬいぐるみは付属しません。

「たたみぱわーず」について

市内の畳屋さんが数店舗集まって「たたみぱわーず」（代表：畳ヤマギシ本店〈筑波〉）というグループを結成しました。熊谷市個店連携応援事業を活用して、スクマム絵柄の畳や、スクマム柄を用いた畳縁を使用した小物の製作等を通し、畳の良さを再認識してもらえるようPR活動をしています。

8月号の正解

ムサシトミヨ

◆応募総数 124通中　正解 111通

市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 TEL 内線 212 までお問い合わせください。

情熱世代

夢追い人

Dream Followers

地域に眠る輝きを見つめる

熊谷　明美（くまがい　あけみ）さん

グラフィック・染色デザイナー
（第5回熊谷発ビジネスプランコンテスト最優秀賞）
熊谷市在住



「好き」を追いかけてつながったデザインの仕事

東小・富士見中で過ごした頃から、絵を描くことが大好きだったんです。好きなことを続けたいという思いから、武蔵野美術大学短期大学部美術科に進み、卒業後は都内でデザインにかかわる仕事につきました。最初は「東京で仕事をする」という夢を叶えたつもりでいましたが、次第に働き方や人とのかかわりが自分に合ったものではないように感じてきたので、8年ほど働いた後、石垣島へ移住して働きました。

石垣島で経験したことは今も心に残っていて、その島で暮らす皆さんの、島を愛する気持ちや人柄が本当に魅力的でした。そして、私自身もそういった地域特有のアイデンティティのようなものを大切にしたいと感じるようになっていきました。

地元の魅力を新しい形で発信したい

子どもが生まれるタイミングで熊谷に戻ってきましたが、久しぶりに暮らしてみると、以前は気付けなかった熊谷の良いところがたくさん見えるようになった気がします。やはり地元の良さは中にいると気付きにくいもので、市外での生活を通して自分の世界や視点が広がったこともあるのかもしれません。

そんな中、埼玉県の技術継承者育成事業に参加して出会ったのが「熊谷染」でした。受け継がれてきた伝統や歴史、技術的な面白さはもちろん、熊谷の魅力として次の世代に受け継がれ、輝いていくべきものだと感じたんです。

今は熊谷染の型紙模様を使いながら、親しみやすく、身近に感じてもらえるような作品や商品で、その魅力を伝えることを心がけています。令和元年度に行われた第5回ビジネスプランコンテストでは、熊谷型紙を使った手染めシャツで応募して、最優秀賞もいただきました。

人の役に立つデザインを

今まで以上に、人の役に立つデザインができればうれしいです。デザインには、地域が抱える課題や魅力を分かりやすく表現して、たくさんの人に届ける力がありますし、それこそがデザインの役割だと考えています。

地元熊谷が元気になるために、私なりに地元の良さを見つめながら、頑張っていきたいと思っています。





右：熊谷さんのデザインしたポスター
左：2019年、星川を彩った熊谷染型紙デザインの反物

10月のKUMAGAYAびと らぐ人

RUGBY TOWN KUMAGAYA



埼玉パナソニックワイルドナイツ
山沢　拓也（やまさわ　たくや）　選手

ポジション：SO（スタンドオフ）
身長／体重：176cm／84kg
生年月日：1994年9月21日
ニックネーム：ヤマ

●ワイルドナイツに決めた理由
世界的に有名な人の近くでプレーすることで自分が上達できるんじゃないかと思ったのが1番の理由です。あと、地元熊谷に近いというのも大きいです。ラグビー以外でも充実した生活を送れると思ったので決めました。

●弟の山沢京平（やまさわきょうへい）選手が入団したが、どんな心境か
中学も高校も大学も被（かぶ）らない歳の差（4歳差）で、一緒にプレーすることがなかったので、一緒にプレーできるようになったのは素直にうれしく思います。試合で一緒にグラウンドに立てるよう、自分も試合に出られるように頑張りたいです。

●ラグビー以外に得意なこと（好きなこと）
サッカーです。小さい頃、めちゃくちゃリフティングとかやってたんで、めちゃくちゃできます。多分5,000回はできました。

●熊谷の出没スポット（お気に入りの飲食店など）
熊谷スポーツ文化公園の南側にある八木牧パークハウスには高校の頃からソフトクリームを食べに行ってました。熊谷ラグビー場に試合を観（み）に来た際には行ってみてください！

●熊谷移転に向けての意気込み
熊谷で、もっとラグビーを広めていくことが自分らの仕事だと思うので、試合を観に来てもらうのはもちろん、試合以外の普及活動に参加して、多くの人に知ってもらって、応援してもらえるチームになれるようにしたいです。

◆ラグビータウン推進課　TEL 内線345

人口と世帯

●令和3年9月1日現在（対前月比）
■人口　194,141人（-140）　男　97,074人（-72）　女　97,067人（-68）　■世帯　88,041（+34）

「市報くまがや」10月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本に掛かる市の負担は、1部当たり17円です。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日　令和3年10月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1111（内線206）　FAX 048-520-2870
「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・さくらめいと出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/